

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専修学校 麻生ビューティーカレッジ		平成14年4月1日	林 宏治		〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999		
目的	本校は、美容技術に必要な知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践の人材を養成することを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
衛生	衛生専門		美容学科		平成16年2月17日 新規告示30号	—	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2100	600	90	1860		
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
400人		179人	9人		26人	35人	
学期制度	■1学期:4月1日～ 8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～ 3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。		
長期休み	■夏 季: 8月1日～8月31日 ■冬 季: 12月19日～1月4日 ■春 季: 3月6日～ 4月3日			卒業・進級条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、休学、留年			課外活動	■課外活動の種類  ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 美容サロン、美容業界  ■就職率 <sup>※1</sup> : 95.7 % ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 90 % ■その他  (平成 27 年度卒業者に関する平成28年4月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	美容師国家資格 メイクアップ技術検定 ネイリスト技能検定 日本エステティック協会認定エステティシャン		
中途退学の現状	■中途退学者 11名		■中退率 5.4 %				
	平成27年5月1日 在学者 202名 (平成27年4月 入学者を含む)		平成28年3月31日 在学者 191名 (平成28年3月 卒業者を含む)				
	■中途退学の主な理由 進路変更(就職・転学・その他)、病気・けが、経済的理由、その他						
■中退防止のための取組 学生ガイダンス実施マニュアルを作成し細かな面談の実施							
ホームページ	<a href="http://www.asoiuku.ac.jp/abc/">http://www.asoiuku.ac.jp/abc/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかりと学び、二年間で美容師国家資格取得を目指していく。また、トータルビューティを推奨する美容サロンの動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しい美容技術・ネイル・メイク・エステの施術ができる力をつけることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業及び教員に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行う。また、実務実習のもと企業(サロン)実習を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
古賀 正徳	ビューティービジョン 理事長
長島 滋	サラ 教育部 部長
林 宏治	専修学校麻生ビューティーカレッジ 校長
渡辺 博明	専修学校麻生ビューティーカレッジ 校長代行
金川 盛一	専修学校麻生ビューティーカレッジ 主任
山口 薫	専修学校麻生ビューティーカレッジ 教務

(開催日時)

第1回 平成27年 7月11日 10:00～11:00

第2回 平成28年 3月14日 10:00～11:00

平成28年度開催予定日 第1回 平成28年7月4日、第2回 平成28年9月

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

学校では体験できない接客業やサロンワークを実体験させることにより学生の社会性と共同性を涵養し、又、就職活動を控えた学生に職業意識を意識させることを目的とする

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習(総合実習)	総合実習として、1年次に60時間(8日間程度)美容室にて現場実習を行う。	(株)田谷、TONI&GY JAPAN、(株)SARA、(株)ネオ・アーデント

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
高木 由紀	株式会社 ダリア 取締役営業本部 部長
藤野 善友	美容科6期卒業生
南 浩史	美容科2年在校生保護者
永末 里志	博多女子高等学校 学校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka\\_abc.pdf](http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_abc.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/> <http://www.asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1) 衛生行政の意義 2 美容師法 (1) 法の目的 (2) 美容師に対する法的規制 (3) 美容所に対する法的規制	2年・通年	30		○			○			○	
○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1) 公衆衛生の意義 (2) 公衆衛生と美容業 (3) 保健所の業務 2 感染症 (1) 美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1) 環境衛生の意義と目的 (2) 美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1) 美容所における衛生管理の意義と目的 (2) 消毒法の選択と実施方法 (3) 消毒法の実習	1年2年・通	90		○			○			○	
○			美容保健	1 人体の構造及び機能 (1) 人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚及び皮膚付属器官の構造及び機能 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の構造 (2) 皮膚の生理的作用と美容との関係 (3) 毛髪および爪の生理的意義と特性 3 皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生と美容施術上の注意 4 皮膚及び皮膚付属器官の疾病 (1) 皮膚及び皮膚付属器官の疾病との関係 (2) 化粧品によるかぶれと美容施術上の注意	1年2年・通	120		○			○			○	
○			美容の物理・化学	1 美容の物理 (1) 美容業で使用される機械器具の構造、原理、機能及び操作方法に係る物理の基本事項 (2) 美容業で使用される機械器具の使用上の注意及び保守管理の方法 2 化粧品の化学 (1) 化学薬品の取扱い、溶液の調製法等の実習 (2) 化粧品の種類、使用目的、成分、作用原理及び使用上の注意	1年2年・通	90		○			○			○	

○		美容文化論	1 美容文化史 (1) 美容ファッションの変遷 (2) 美容業における流行の意義と役割 2 美容デザイン (1) 造形及び色彩の原理 (2) 美容における造形及び色彩の意義と応用 3 服飾 (1) 美容における服飾の意義 (2) 衣服に関するエチケット	1年 2年 ・ 通	90		○			○				○	
○		美容技術理論	1 器具の取扱 (1) 美容器具の種類、各部の名称及び使用目的 (2) 美容器具の選定法、研磨法、基本的操作法及び手入れ法 (3) ヘアドライヤー、ヘアスチーマー及びブラシの使用目的と手入れ法 (4) 被布及び布片類の使用目的 (5) 美容器具の消毒法 2 基礎技術 (1) 美容技術の意義と基礎知識 3 頭部技術 (1) 頭部技術の基礎知識 4 特殊技術 (1) 特殊技術の基礎知識 5 和装技術 (1) 和装技術の基礎知識	1年 2年 ・ 通	120		○			○			○		
○		美容運営管理	1 経営管理 (1) 美容業における経理事務 2 労務管理 (1) 美容業における労務管理 3 接客法 (1) 社会生活におけるエチケット (2) 美容業における接客の意義と技術 (3) 美容業における消費者対応	1年 ・ 通	60		○			○				○	
○		美容実習	1 器具の取扱実習 2 基礎技術実習 3 頭部技術実習 4 特殊技術実習 5 和装技術実習 6 総合実習	1年 2年 ・ 通	810					○	○		○	○	○
○		ヘアカット	1 ブロッキングとシェーピング 2 ワンレングス理論及び実習 3 グラデーション理論及び実習 4 レイヤー理論及び実習	1年 ・ 通	60					○	○			○	
○		メイクアップ	1 メイク理論及びスキンケア実習 2 ベースメイク実習 3 アイメイク実習 4 リップカラー、チークカラー実習	1年 ・ 通 2年 ・ 1,2学	90					○	○		○	○	
○		ネイル	1 ネイル理論 2 ネイルケア 3 ネイルカラー 4 ネイルアート	1年 ・ 2学	60					○	○		○	○	
○		エステティック	1 エステティック理論 2 スキンケア実習 3 フェイシャルエステ実習 4 ヘッドマッサージ実習	1年 ・ 2学 3学	60					○	○		○	○	

○		シャンプー & ブロー	1 シャンプー理論 2 シャンプー実習 3 ブロー理論 4 ブロー実習	1年 2年 ・ 1,2学	60							○	○				○	
○		ヘアカラー	1 毛髪科学、ヘアカラー理論 2 ブリーチ実習 3 ワンメイク実習 4 リタッチ実習	1年 ・ 通	30							○	○				○	○
○		デザイン	1 カラーコーディネート理論 2 カラーコーディネート演習 3 デッサン（ドローイング） 4 模写実習	1年 ・ 1,2学 2年 1学	60							○	○				○	
○		ヘア&着付け	1 ヘアアレンジ実習 2 着付実習	1年 ・ 2,3学	30							○	○				○	
○		選択ヘアデザイナーコース	1 トランジェントグラデーション実習 2 スクエアレイヤー実習 3 クラシックグラデーション実習 4 トランジェントカット実習	2年 ・ 通	150							○	○				○	
○		選択ヘアメイクアップアーティストコース	1 TAYAアドバンスカット 実習 2 shu uemura アドバンスメイク実習	2年 ・ 通	150							○	○				○	○
○		選択ブライダルスタイリストコース	1 ブライダルヘアアレンジ実習 2 ブライダルメイク実習 3 ブライダルドレスフィッティング実習	2年 ・ 通	150							○	○				○	
○		選択ヘアカラーリストコース	1 ヘアカラーアドバンス実習 2 パーソナルカラー演習	2年 ・ 通	150							○	○				○	
○		就職実務	1 就職までの流れに関する講義 2 就職活動時の注意点に関する講義 3 履歴書及び面接対策に関する演習	1年 ・ 1学 2年 ・ 1学	30							○	○				○	
○		グローバルシブズンベシック	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1年 ・ 1学 2年 ・ 1学	30							○	○				○	
○		総合学習	1 企業セミナーの受講 2 福祉ボランティアへの参加 3 社会貢献事業への参加	1年 ・ 1学 2年 ・ 1学	30							○	○				○	
合計			20 科目	2100単位時間( 単位)														

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
厚生労働大臣の指定した美容師養成施設において定められた法定時間（履修時間）を履修していること。（学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。）各学期、教科課程の区分ごとに、その教科課程の3分の2以上（実習を伴う教科課程は5分の4）以上出席を満たしていること。 当該学年において履修すべき課程の各学期ごと試験の通年評価が必修課程60点（C評価）以上、選択必修課程60点（C評価）以上であること。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	14週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。